

## 平成 24 年度 市民意識調査反映状況

	調査名（実施課）	反 映 状 況
1	市民満足度調査 （企画課・広報課）	・市民満足度調査の設問は「まちみがき戦略推進プラン」や「第2次静岡市総合計画」に基づく本市政に対する市民満足度を測る項目であるため、今後の市政運営（毎年度の重点政策の策定、第3次静岡市総合計画の策定等）の指標として活用していく。
2	障がいの理解推進事業について （障害者福祉課）	・障がいや障がいのある人について理解するために必要があるものについて調査したところ「学校での福祉教育（体験学習など）」が 55.3%と多かったため、市内にある大学の看護学部等で講演会を行い、体験実習や、障がいのある方やその家族との交流を通して理解を深めるための事業を実施した。今後は、市内小学校や大学の看護学部で講演会を行い、体験実習や、障がいのある方やその家族との交流を通して理解を深めるための事業を実施する。
3	静岡市の景観まちづくりについて （旧：都市計画課） （組織変更に伴い建築総務課）	・景観まちづくりに関する施策で、静岡市に取り組んでもらいたいものについて調査したところ「景観上重要な樹木の保全」が、41.6%と最も多かったため、景観上重要な樹木の指定に向けて、景観審議会の意見を伺いながら、選定作業を進めていく。
4	静岡版「もったいない運動」について （廃棄物政策課）	・最終処分場の残余容量が逼迫しているため、ごみの「更なる減量が必要だと思う」が 63.2%、また、ごみの発生抑制を促進するために有効なものについて、静岡版「もったいない運動」の周知徹底が 53.2%、具体的な取り組みにつながる施策の啓発が 27.9%と多かったことから、平成 25 年度から自治会・町内会等の地域の団体において「ごみ減量具体化説明会」を開催し、ごみ減量の具体的な取り組みについて啓発を行っている。
5	静岡市歴史文化施設の整備について （文化財課）	・歴史文化施設の基本構想の策定に関する設問のうち、「まったく知らない」との回答が 71.0%と多かったことから、本市の歴史文化の魅力を紹介し、市民に歴史文化への関心を深めてもらい、併せて歴史文化施設建設への機運を高める機会とするため、平成 25 年 10 月 20 日に歴史文化フォーラムを開催した。